



# 2022年4月より 救急外来が新体制となりました

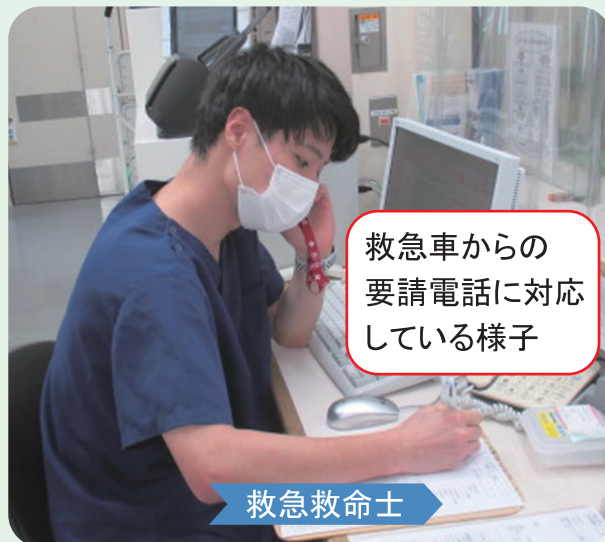
ICU看護師長 村田 久子

今年度より、当院に新たに救急科が新設されました。これに伴い、救急科医師(呼吸器内科専門医)が救急外来に平日の日中に常駐するようになりました。これまで以上に、地域からの救急要請に対応できる新体制作り励んでいます。



救急科医師

救急外来担当看護師



救急車からの  
要請電話に対応  
している様子

救急救命士

さらに、地域の救急隊と病院との連携をよりスムーズに進めていくために、救急隊の経験を有する救急救命士<sup>※</sup>も配置しています。急病等で救急搬送される患者さんの受け入れの調整(救急隊との連絡のやり取り等)や、医師の指示の下で患者の初期対応を行っています。

※2021年10月に救急救命士法が改定され、活動範囲が「救急車内」に加え「救急外来などの病院内」も含まれるようになりました。医師の指示の下で、専門的な視点から患者さんの診療の補助を行っています。

当院の救急外来では、集中治療室看護師も救急外来業務を担当し対応にあたっています。



集中治療室看護師

救急救命士

救急科医師をはじめ、救急担当の内科・外科系の医師、そして救命救急士や救急外来看護師、集中治療室看護師が一丸となり、日々の診療に携わっていきたく思います。

# さらなる 救急患者受入れを目指します

世田谷区にお住まいの皆さんが安心して日々を過ごして頂けるように、いざというとき、急な体調変化に困ったときすぐに当院に頼って頂けるような、地域中核病院としての役割を果たしていきます。

未だ落ち着かないコロナ禍(か)の中で、日々救急診療を行っています。

院内感染を未然に防ぐため、常時しっかりとした感染対策を行いながら、院内感染対策チームとも協働して、救急診療がストップしないよう日夜努力をしています。



救急科医師が着任以降、受入件数は増加傾向になっています。引き続き当院は、世田谷区内において、地域の皆さんが安心して生活して頂けるように、救急医療の拡充に向け日々努力を重ねていきたいと思っております。  
(救急外来スタッフ一同)

## 熱中症に対するワンポイントアドバイス！！

### ★予防対策

①のどが乾いてなくてもこまめな水分と塩分を摂取  
水やお茶をたくさん飲むのではなく、スポーツドリンクや冷たい味噌汁など塩分を含んだ飲料を取りましょう。

### ②室内でも温度・湿度対策

(室温:26.5度 湿度:50%)

クーラーや扇風機を使用して体に熱がこもらないようにしましょう。

### ★応急処置

氷枕や保冷剤で首や脇の下、太ももの付け根を冷やす。  
からだを濡らし、うちわや扇風機であおいで、からだを冷やすとよいです。

